



第40期 決算レポート

平成25年4月1日～平成26年3月31日



株式会社ヨンキュウ

株主の皆様へ

グループ全体で更なる成長を目指します。



代表取締役社長
笠岡恒三

当社は、昭和38年創業以来、養殖漁業に特化した経営方針で、「獲る漁業」から「育てる漁業」へのシフトに寄与してまいりましたが、昨年4月に創業50周年を迎えました。これもひとえに株主の皆様をはじめ、関係各位のご支援の賜物と心から感謝申し上げます。

当社は、養殖魚の飼料販売からスタートし、その後養殖業者のニーズに応えるため養殖魚の仕入・販売を開始し、さらに加工事業への着手、稚魚の販売、人工孵化稚魚の生産・販売など、養殖事業における一貫体制を構築し、現在では養殖漁業を川上から川下までトータルにサポートする商社的存在となっております。

平成20年には「日振島アクアマリン有限責任事業組合」を設立し、マグロ養殖事業へ参入、さらに平成24年に「株式会社西日本養鰻」を設立後、本年1月に養鰻場建設に着手するなど、うなぎ養殖の早期事業化もすすめており、新分野へも果敢に挑戦しております。

また、飼料にコラーゲンを加えて育てる新ブランド「コラーゲンシリーズ」の販売開始など、養殖魚の新ブランド化にも取り組んでおります。

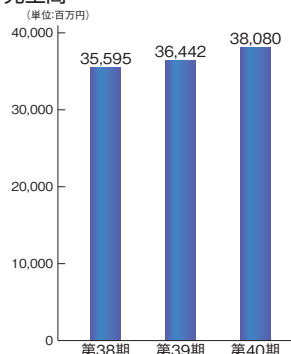
今後も、新分野への投資拡大やマーケティングの強化に努め、グループが一体となって経営の効率化を進め、経営基盤の強化と収益改善に取り組み、グループ全体で更なる成長を目指してまいります。また、皆様からの幅広いニーズにお応えするとともに、食の安心・安全といった様々な施策を積極的に推進し、ヨンキュウブランドの確立と企業価値向上を目指してまいります。

これからも消費者や業界の皆様、地域の皆様に信頼される企業として、水産業の発展に貢献できれば幸いに存じます。

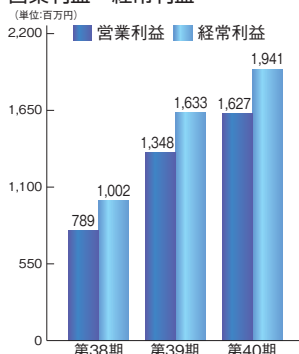
株主の皆様には、今後とも一層のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

決算ハイライト (連結)

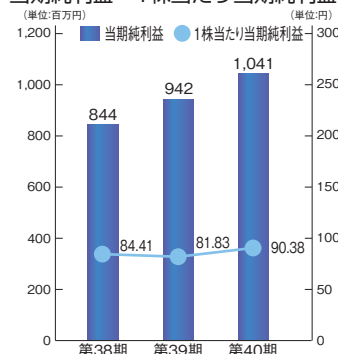
売上高



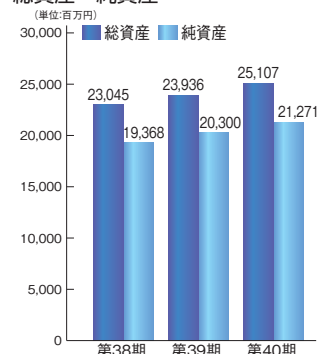
営業利益・経常利益



当期純利益・1株当たり当期純利益



総資産・純資産



営業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府・日銀による財政・金融政策などにより好調であった輸出関連企業の業績は、年度末にかけて横ばいとなり、外需は弱含みで推移いたしました。内需では消費税増税前の駆け込み需要などにより、景気を押し上げる形となり、景気の回復基調が持続する状況となりました。

また、養殖業界におきましては、昨年の天然稚魚不漁による稚魚池入れ減少を受け、養殖魚の総在池量は低水準であることから、ハマチ・カンパチの魚価は高値基調で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループでは、引き続き、新規市場の開拓など国内市場における販売シェア向上と業務の効率化・コスト削減に努めてまいりました。また、養殖魚の新ブランド化（コラーゲンブリを始めとし、鯛・ハマチ・カンパチの4品目をコラーゲンシリーズとして販売開始）や養鰻場の建設などにも注力してまいりました。

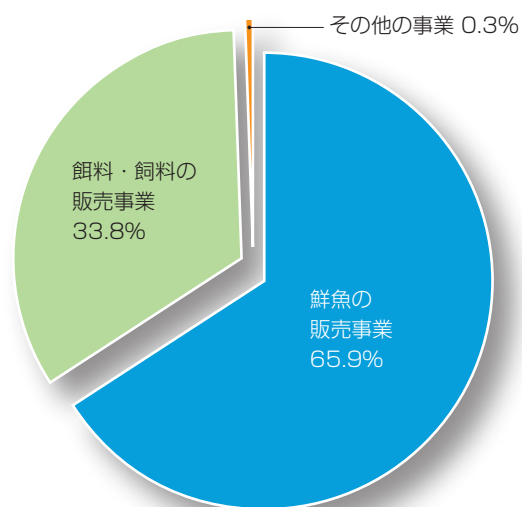
その結果、「鮮魚の販売事業」では、魚価の回復により増収、「餌料・飼料の販売事業」では、販売数量が増加したことにより増収となりました。

利益面では、稚魚及び餌料などの販売数量の増加に加え、魚価の回復により販売費及び一般管理費に計上している貸倒引当金の戻入（前期は繰入1億6百万円から当期は戻入10百万円の計上）もあり、各利益は増益となりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高は380億80百万円（前期比4.5%増）、営業利益は16億27百万円（前期比20.6%増）、経常利益は19億41百万円（前期比18.9%増）、当期純利益は10億41百万円（前期比10.4%増）となりました。

なお、当連結会計年度より、「その他の事業」に含まれていたマグロ養殖事業及びうなぎ養殖事業については、量的な重要性が増したため、「鮮魚の販売事業」に含めて記載する方法に変更しております。

売上高構成比



鮮魚の販売事業	
売上高	250億86百万円（前期比 1.1%増）
営業利益	1億5百万円（前期比 290.6%増）

「鮮魚の販売事業」では、ハマチ・カンパチは魚価が高値基調で推移したことから販売数量は減少しましたが、販売価格が上昇したことにより増収、利益面では利幅の確保と業務の効率化に努めたことで増益となりました。

その他の事業	
売上高	1億5百万円（前期比 31.1%減）
営業損失	28百万円（前期は営業損失1百万円）

「その他の事業」では、売上高は1億5百万円、営業損失は28百万円となりました。

餌料・飼料の販売事業	
売上高	128億87百万円（前期比 12.2%増）
営業利益	16億16百万円（前期比 17.9%増）

「餌料・飼料の販売事業」では、販売数量の増加に加え、貸倒引当金の戻入などもあり、増収増益となりました。

※ヨンキュウグループの事業内容について

- 株式会社ヨンキュウ：鮮魚及び餌料・飼料の販売事業
- 株式会社海昇：鮮魚及び餌料・飼料の販売事業
- 四急運輸株式会社：一般貨物運送事業
- 日振島アクアマリンLLP：マグロ養殖事業
- 株式会社西日本養鰻：うなぎ養殖事業

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	平成26年3月31日現在	平成25年3月31日現在
資産の部		
流動資産	20,333	19,770
固定資産	4,773	4,165
有形固定資産	2,201	1,877
無形固定資産	213	306
投資その他の資産	2,359	1,981
資産合計	25,107	23,936
負債の部		
流動負債	3,621	3,464
固定負債	214	170
負債合計	3,835	3,635
純資産の部		
株主資本	21,095	20,192
資本金	2,187	2,187
資本剰余金	3,124	3,124
利益剰余金	15,800	14,896
自己株式	△16	△15
その他の包括利益累計額	175	107
少数株主持分	0	0
純資産合計	21,271	20,300
負債純資産合計	25,107	23,936

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	平成25年4月1日～平成26年3月31日	平成24年4月1日～平成25年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	904	297
投資活動による キャッシュ・フロー	△436	49
財務活動による キャッシュ・フロー	△138	△126
現金及び現金同等物に 係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の 増加額	332	221
現金及び現金同等物の 期首残高	6,947	6,725
現金及び現金同等物の 期末残高	7,280	6,947

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	平成25年4月1日～平成26年3月31日	平成24年4月1日～平成25年3月31日
売上高	38,080	36,442
売上原価	32,947	31,309
売上総利益	5,133	5,132
販売費及び一般管理費	3,505	3,784
営業利益	1,627	1,348
営業外収益	346	315
営業外費用	31	30
経常利益	1,941	1,633
特別利益	6	4
特別損失	2	(注)3 103
税金等調整前当期純利益	1,945	1,534
法人税等	904	591
少数株主損益調整前当期純利益	1,041	943
少数株主利益 (△は損失)	△0	0
当期純利益	1,041	942

連結財務諸表に関する補足事項

- (注) 1. 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。
2. 前連結会計年度より、完全子会社として設立した株式会社西日本養鰻を設立日より連結の範囲に含めております。
3. 前期の特別損失には、役員退職慰労金99百万円を計上しております。

株式情報 (平成26年3月31日現在)

発行可能株式総数	26,000,000株
発行済株式の総数	11,556,084株
株主数	2,186名

会社概要 (平成26年3月31日現在)

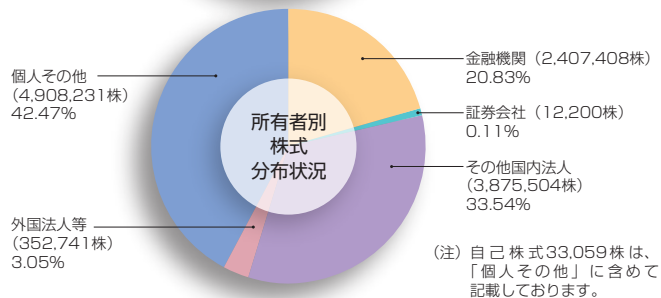
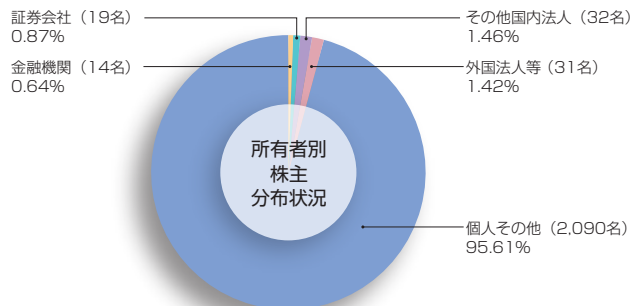
社名	株式会社ヨンキュウ
所在地	愛媛県宇和島市築地町2丁目318番地235
設立日	昭和38年4月26日
資本金	21億8,761万5千円
事業内容	鮮魚販売、餌料・飼料販売、 養殖用稚魚の生産・販売
従業員数	122名
子会社	株式会社海昇 四急運輸株式会社 日振島アクアマリン有限責任事業組合 株式会社西日本養鰻
主要取引先	各地漁業協同組合、各地養殖漁業者、 全国中央卸売市場 (荷受会社)

役員 (平成26年3月31日現在)

代表取締役社長	笠岡恒三
取締役相談役	笠岡繁樹
常務取締役	清水敏雄
取締役	林建至
常勤監査役	玉井國夫
監査役	中山孝司
監査役	岩城紀正
監査役	鈴木義直

ホームページのご紹介

ホームページからも当社のIR情報をご覧いただけます。
<http://www.yonkyu.co.jp>



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日

そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関
株主名簿管理人
事務取扱場所
(郵便物送付先)

(電話照会先)
(インターネットホームページ)

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお願いいたします。

公告の方法

電子公告
 公告掲載URL <http://www.yonkyu.co.jp>
 ただし、やむを得ない事由により電子公告とすることが出来ない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

上場金融商品取引所 株式会社東京証券取引所JASDAQ (スタンダード)

養魚グローバルカンパニー 毎日新鮮・毎日安心



株式会社ヨンキュウ